

速さは、どこから始まるか 文章A

年 組 番 名前 _____

基礎を固めるクラス 偏差値のめやす 40～50程度 高2

この紙のゴール：同じ話題の2つの文章を読み、2人が「速さ」を別の区間で測っていることを見つけて、対立点を1文で言えるようにする / 目安20分（本文＋設問）。本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

[1] Trains exist to move people, so the measure of a train is how long the journey takes. If a train reaches the city in forty minutes instead of sixty, that is twenty minutes returned to every passenger, every morning.

[2] There is one well-known way to make a train faster: stop less often. Every stop costs time. The train slows down, the doors open, it waits, and it starts again. Most of the people on board are not getting off there.

[3] Faster trains also carry more people on the same track. Each train finishes its trip sooner and comes back sooner. Speed is not only comfort. It is capacity.

[4] Some say that skipping stations is unfair to the people who live near them. But those stations are not closed. The local train still stops there; the express simply passes through. Nobody loses a station, and many people gain time.

[5] Others say that people will move further out and spend the saved minutes travelling anyway. Perhaps. But that is a choice made with time they did not have before.

[6] So the rule is simple. Look at the timetable, remove the stops that few people use, and give the minutes back.

〔語注〕 capacity=運べる量 express=急行

本文には自由に書き込んでください。つなぎの語（But / Yet / however）に印をつけ、段落の左に「認める／切り返す／例／主張／提案」とメモすると、大問Iがそのまま解けます。

速さは、どこから始まるか 文章B

年 組 番 名前 _____

文章Aと同じ話題について、Aを読んだ別の書き手が書いたものです。Aのどこに反対しているかを探しながら読みましょう。

[1] The argument above measures the journey from the first platform to the last. That is not where a journey begins or ends.

[2] Time starts at the front door. If the express does not stop at the nearest station, the twenty minutes saved on the train are spent before boarding, in walking further or waiting for a bus. The timetable is faster. The morning is not.

[3] And the small station does not stay as it was. When the fast trains take the track, the slow ones are pushed into the gaps between them, and the wait grows. The station is still open. It is only further away in time.

[4] Speed is worth having. But the number on the timetable is not the number a passenger lives with.

〔語注〕 platform = (駅の) ホーム

Aと同じところに線、ちがうところに波線を引きながら読むと、対立点を答える設問がそのまま解けます。



速さは、どこから始まるか 設問

年 組 番 名前 _____

文章A・B（前の紙）を見ながら答えてかまいません。

大問1 **それぞれの主張** AとBの筆者が、いちばん言いたいことを日本語で書こう（各20字以内）。

(1) 文章Aの筆者の主張 **思考・判断・表現**

4点

(2) 文章Bの筆者の主張 **思考・判断・表現**

4点

大問2 **対立点** 2人の意見が分かれているのはどこか。合うものを選ぼう。

(1) AとBが分かれているのは、どの点についてか。 **思考・判断・表現** 答え（ ）

3点

- ア 電車が速くなるのはよいことかどうか
- イ 「速くなった」をどこからどこまでで測るか
- ウ 小さな駅を閉じてよいかどうか
- エ 運賃を上げてよいかどうか

(2) Bの[3]段落は、Aのどの段落に対する答えか。 **思考・判断・表現** 答え（ ）

3点

- ア Aの[1]段落（20分が返ってくる）
- イ Aの[3]段落（速さは輸送力でもある）
- ウ Aの[4]段落（駅は閉じていない）
- エ Aの[6]段落（時刻表を見よ）

大問3 **読み取り** 本文の内容に合うものを選ぼう。

(1) Aが「速さは輸送力でもある」と言うのはなぜか。 **思考・判断・表現** 答え（ ）

3点

- ア 速い電車のほうが車両が大きいから
- イ 1本が早く着いて早く戻るので、同じ線路で多く運べるから
- ウ 速い電車のほうが運賃が高いから
- エ 速い電車のほうが乗客が集まるから

(2) Bの[2]段落 The timetable is faster. The morning is not. の意味に、いちばん近いものは。

知識・技能

答え（ ）

3点

- ア 朝は電車が混むので、時刻表どおりに進まない
- イ 時刻表の上の時間は縮んだが、その人の朝は縮んでいない
- ウ 朝の電車は、昼より遅い
- エ 時刻表を見ない人のほうが、朝は早く着く

速さは、どこから始まるか（基礎） | 解答と採点

解答
 選択問題

大問2 対立点		
(1)	イ	Bも[4]で速さの価値は認めている。分かれるのは、ホームからホームまでを測るか、玄関から目的地までを測るか。
(2)	ウ	Aは「駅は閉じていない」と言った。Bは、閉じていなくても各駅停車の間隔が開けば、時間の上では遠くなると答えている。
大問3 読み取り		
(1)	イ	[3]段落。finishes its trip sooner and comes back sooner がそのまま根拠になっている。
(2)	イ	The morning is not (faster). の省略。直前の「乗る前に使ってしまう」を受けている。

記述の採点
 模範解答と部分点の刻み

刻みは答案を見る前に配点を決めておくための表です。採点しながら基準を作ると、最初の10枚と最後の10枚で線が動きます。

大問I(1)
 文章Aの筆者の主張
 4点

停車駅を減らして所要時間を縮めるべきだ（19字）	
配点	その点を与える条件
2点	「停車駅を減らす・急行を増やす」が入っている
2点	「時間が短くなる・時間が返ってくる」が入っている

大問I(2)
 文章Bの筆者の主張
 4点

速さは家から目的地までで測るべきだ（17字）	
配点	その点を与える条件
2点	「家から・玄関から」など、乗る前の時間を含めることが入っている
2点	それが「速さの測り方」の話になっている

「急行に反対」とだけ書いた答案は0点。Bは[4]で speed is worth having と認めており、反対しているのは急行ではなく測り方のほう。

速さは、どこから始まるか（基礎） | 出題のねらい

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

この2人は、事実の食い違いで争っていません。争点はどこからどこまでを「移動」と呼ぶかだけです。Aは最初のホームから最後のホームまでを測り、Bは玄関から目的地までを測る。同じ「速くなった」という語が、別の区間を指しています。答案でいちばん多いのは「Aは急行に賛成、Bは反対」―立場の要約であって、対立点の特定ではありません。ものさしの違いに手が届いた生徒は、Bの[3]（各駅停車が押しのけられて待ち時間が伸びる）がAの[4]（駅は閉まっていない）への正面からの答えになっていることまで読めます。

型	観点	テストでの使い方
それぞれの主張（記述）	思考・判断・表現	2つの文章の主張を1文にたたむ。3版共通の骨格で、ここが書けないと以降が全部崩れる
対立点の特定	思考・判断・表現	段3の芯。基礎は選択、標準・発展は記述。「賛成か反対か」ではなく、ものさしの違いに届いているか
論の運びの読み取り	思考・判断・表現	Aの譲歩→切り返しの型と、Bのどの段落がAのどの反論に答えているかの対応づけ
語句の意味・下線部和訳	知識・技能	基礎・標準は文脈からの推測、発展は和訳（省略された語句を補えるか）
自分の考えを書く（英語）	思考・判断・表現	発展版のみ。両方にふれて50語。読み比べを表現につなぐ出口

大問I（それぞれの主張を1文で）は3版とも同じ問いです。配り分けでも、ここだけは同じ力を測っています。

3つの版の使い分け

論題と対立の中身は3版共通で、変えているのは英文の長さと答え方です（基礎＝主張を選ぶ／標準＝日本語で書く／発展＝日本語の記述に英語の意見を1問足す）。同じクラスで配り分けでも、答案は同じ観点で並べて読めます。